



2016

新年あけましておめでとうございます

2016年1月

- ①2016年度上田市政と予算に関する要望書【178の政策提言】
- ②開かれた長野大学公立大学法人化の検討について（一般質問）part.2

メールアドレス：masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 【わたなべ正博後援会】

2016年度の予算編成にあたり、共産党市議団は多くの市民や団体から寄せられた要望をもとに「予算要望書」をまとめました。178の要望項目【政策提言】を検討し、新年度の予算編成（補正予算含む）と施策に反映させるよう市長に提出（2015年12月16日）

【重点要望】

◆ 景気・雇用・経済対策

◎市議会産業水道委員会では、平成26年度当初予算において、「①中小企業の振興とその取り組みを、市の業務として明確に位置付け、実効性を担保するため、条例制定を検討すること。②条例制定を検討するに当たっては、事業者、有識者のほか広く市民の意見を取り入れること。③事業者とともに条例制定に取り組めるような仕組みづくりを検討すること」など3項目の附帯意見をつけました。

上田市の経済の中心的役割を果たしている中小企業振興支援施策を推進する根拠となる「(仮称)上田市中企業振興基本条例」を早期に制定すること。

◎小規模事業者の仕事起こしにつながり、住環境

の向上や魅力あるお店づくりのため、住宅リフォーム助成制度及び商店版リフォーム助成制度を制度化すること。(他、持続可能な産業、公契約条例、ブラック企業調査など8項目)

◆ 観光を活かしたまちづくり

◎上田市、観光事業者、観光関連団体や市民が、地域資源を活かした個性的で魅力ある観光都市づくりを一体となつて取り組むために、「(仮称)上田市観光振興基本条例」の制定に取り組むこと。

◎NHK大河ドラマ「真田丸」放送終了後も、日本遺産認定に向けた取り組みなど上田市ファンを増やすこと。(他「真田丸」関連で3項目)



市長室にて (2015/12/16)
行政側：母袋市長・井上副市長・宮川総務部長・小野塚財政部長
共産党：戸谷党地区委員長・高村県議・渡辺市議・久保田市議・古市市議・成瀬市議

◆ 資源循環型社会の構築にむけて

◎資源循環型施設（統合クリーンセンター、リサイクルプラザ）は、上田地域広域連合全体の約8割のごみを出す上田市が責任を持ってすすめること。(他、ゴミの減量化、し尿処理など3項目)

◆ 災害に強いまちづくり

◎岡谷市では、平成18年の豪雨災害から10年になるのを前に、災害に強いまちづくりを目指して、裏面へ

要望項目一つ一つが、議員活動の指針です。本年も叱咤激励よろしく願いいたします。

わたなべ正博のノート

- 1日 生島足島神社初詣
- ・佐加神社初詣
- ・石神自治会新年会
- ・上田駅前街演「正午(恒例)」
- ・下之郷9班新年総会
- 妻の実家へ・・・といつても下之郷別所温泉参道にて街演「恒例」
- 3日 運転免許証更新手続で望月へ
- 4日 上田市商工会議所賀詞交換会
- 5日 生活相談(予)
- 6日 須坂へ
- 7日 議会広報特別委員会
- 8日 モルティ塩田前街演
- 9日 東塩田各自治会新年総会「7自治会へ小林議員とあいさつ行脚」
- 10日 成人式は総会と重なるので欠席
- 11日 上田地域市町村議員研修会
- 12日 マイナンバー制度学習会
- 13日 議会会派代表者会と長大研究委員会合同視察「1泊2日」福知山市へ
- 14日 地区党旗開き
- 15日 上小農民センター役員会議
- 16日 上田市消防団出初め式
- 17日 真田丸大河ドラマ館開館記念式典
- 18日 上田駅前モーニングスピーチ
- 19日 アベ政治は許さない「SD行動
- 20日 生協診療所「定期検診」
- 21日 生活と健康を守る会総会
- 22日 東塩田自治会連合会定期総会
- 23日 下之郷自治会新年総会
- 24日 上小農民センター学習研究集会
- 25日 長野県正・副議長会議in上田「接待」
- 26日 上田地域広域連合「保健福祉委員会」
- 27日 地域内再投資による地域振興学習会
- 28日 議会広報特別委員会
- 29日 市職労新春パーティーは残念だが欠席かな・・・
- 30日 モルティ塩田前街演
- ・民主団体合同旗開き

(1月1日現在)

【1月】

「防災・減災基本条例」の検討を始めました。

上田市でも、災害に強い安全なまちづくりに向け、災害対策機能の強化や地域ぐるみの防災対策を推進していくため、(仮称)上田市防災基本条例「制定に向け検討すること。(他、耐震化などのハード事業、消防団の待遇改善、自主防災組織など16項目)

◆長野大学公立大学法人化について

◎長野大学公立大学法人化問題は、いまだ多くの市民には理解されていません。

「長野大学の評価」「市財政への影響」「学生(保護者)の負担」「長野大学の存在による経済波及効果」など上田市としての説明責任をはたすこと。

◆子どもの貧困対策について

◎市の総合教育会議において、子どもの貧困対策

を系統的に協議し、必要な施策を具体化すること。

◎家庭や学校、友人関係、地域社会など児童生徒が置かれている環境に働きかけ、支援を行うスクールソーシャルワーカーの役割はますます重要となつていきます。スクールソーシャルワーカーを拡充すること。(他、給付型奨学金、就学援助など3項目)

【分野別要望】

- 1 サントミューゼの管理・運営について
- 2 地域内分権の推進について
- 3 行財政改革について
- 4 障がい者(児)対策について
- 5 地域医療、保健予防、医療対策について
- 6 国民健康保険事業について
- 7 生活困窮者対策について
- 8 商工、観光について
- 9 農林業の振興について
- 10 道路、公共交通対策について
- 11 人権行政について
- 12 公共工事について
- 13 住宅対策について
- 14 上下水道事業について
- 15 子育て支援について
- 16 教育行政について
- 17 平和行政について



part.2

開かれた長野大学公立大学法人化の検討について

今後の上田市をどうしていくかというビジョンの中で、長野大学はどうあるべきと考えているのか。長野大学が「なくてはならない大学」という提示ができるのか。市長に問う。

母袋市長 ①長野大学には1200余名の学生が在学し、多くの地元学生を受け入れ、育成し地域に輩出して、これまでもその大きな役割を担ってきました。また、経済波及効果は、18・1億円と推計されています。地域の皆さんにも支えられ50年間続いてきたこの長野大学は、なくてはならない大学と考えています。②地方の私立大学は、今のままでは将来の存続が

危惧されるところです。

その大学を上田市が、公立大学法人化という手法をもって、まずは、志願者を集め、長野大学の運営の安定化を図ってきたい。

③高等教育機関が集積する、上田市は、同規模の他の地方都市にはない強みがあり「学園都市づくり」を重要なテーマとして掲げている。

④公立大学法人化することにより、地元をはじめ全国から学生が集まる魅力ある学校づくりを進め、地域の人材を地域で育て、地元の企業で活躍してもらうことで、優秀な人材を大都市圏に送ってしまいうのではなく、地域に残ってもらう、地域内での人の循環を生み出したいと考えている。

⑤長野大学においては、(仮称)地域づくり総合センターを中心に、大学の専門性を活かした、地域や産業界の課題解決につながる取組を推進し

ていただくとともに、地元企業が求める実践的な職業教育と市民の皆さんの生涯学習の機会の充実を図っていただくことで、大学の知の拠点としての機能をまちづくりに活かしていきたいと考えています。以上

2000万人「戦争法の廃止を求める統一署名」を始めています。ご協力ください。

従来はともすると別々に取り組まれていた署名運動を1本化するという画期的な試みです。この運動はいま求められている参院選での野党の協力と、勝利にも大きな弾みとなると確信しています。激しい反対運動や世論を無視して戦争法が成立しました。今後は、憲法九条の空文化か、それとも戦争法の空文化か、という対決が本格化することになります。